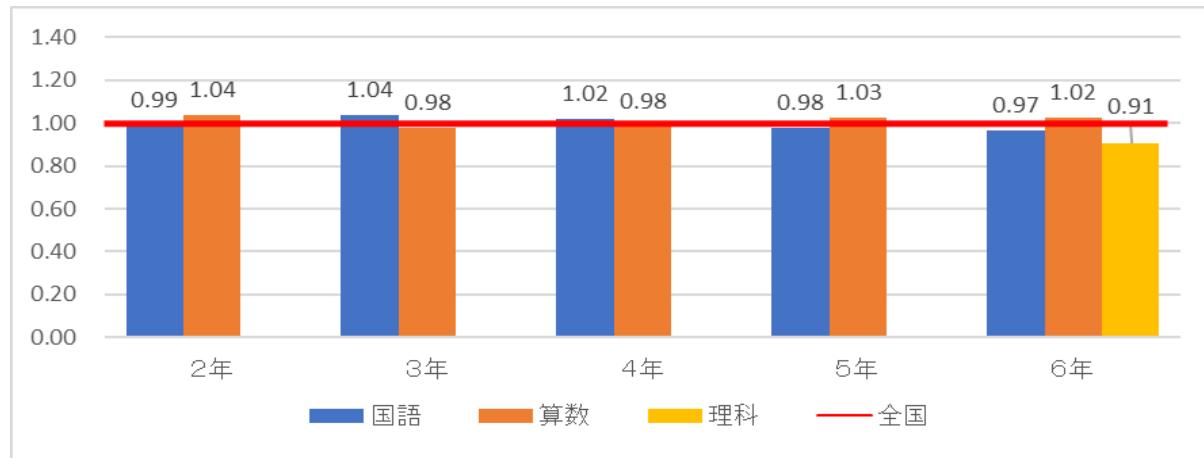


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第五中学校区 和光小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、概ね全国平均と同等、または上回る結果であった。今後も、家庭学習を通じた漢字や言葉の学習とともに、新出漢字の確実な定着、語彙力の習得に向けた取組を行っていく。
	算数	「数と計算」「図形」領域については、概ね全国平均と同等、または上回る結果であり、良好な結果であった。今後も、基礎・基本の確実な定着に向けた取組と、毎日の家庭学習や自主学習の取組と連動させた指導を行っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」について、全国値を上回る結果であった。今後も、漢字や文法事項の確実な定着に向けた指導を行っていく。
	算数	「数と計算」「測定」領域について、全国値を上回る結果であった。今後も、基礎・基本の定着に向けた指導を行っていく。
	理科	「実験の結果から実験の条件の違いを見つける」設問において、全国値を上回る結果であった。今後も、事実を比較し、実験条件に着目し考察できるよう指導を行っていく。
	質問紙	「自分には良いところがあるか」「将来の夢や目標を持っているか」の設問に、肯定的な回答した児童の割合が全国値を上回る結果であった。今後も、自尊感情を高める取組を継続・充実させていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的に開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会・授業公開を開催し、同じ方向性のもと、取組を推進している。

【学校】

各学期末の「学期末テスト（算数・漢字）」の実施、「チャレンジノート」による家庭学習推進、「主体的に学びに向かい、自分の思いや考えを、ことばで伝え合う児童の育成」に向けた授業研究、「ねやがわスタンダード」に基づいた全教員相互授業参観により、「考える力」の育成・基礎学力定着・授業力向上に向けた取組を推進している。